

Staff interview

2016年入職
培養室



胚培養士とは
命の源となる卵子と精子を扱い
命の起源となる受精から
命が宿ろうとする胚移植までを預かる
生殖医療の中でも大変重要で責任ある仕事



Q なぜ、当クリニックに入職を決めたのですか？

前職では製薬会社に勤務しており、よく不妊治療施設で技術指導などを行っていました。胚培養士の方と触れ合う中、皆が「1人でも多くの患者様に赤ちゃんを授かってもらいたい」という強い願いを持ち、直向に勉強や技術習得に向かっている姿に感化され、胚培養士に転職しようと決心しました。

また、これまでの経験より、症例数が多い施設の胚培養士は、技術が非常に高度で安定している印象がありました。自分のスキルアップのためには症例数が多く、また患者様に寄り添った治療をしている施設と決めていたので、みなとみらい夢クリニックを選びました。



Q 胚培養士からみて当クリニックの強みは？

経験豊富な先輩が多く在籍しており、培養室はアットホームな雰囲気ので気軽に質問しやすく、先輩の手厚いサポートもあるのでスキルアップを目指すには非常に良い環境です。また、他部署も含めて院内で勉強会を行っているため、スタッフ全員の知識レベルが高く、分からないことがあれば部署を越えて気軽に聞きに行くこともできます。

Q 本来の業務以外に取り組んでいることはありますか？

院内安全管理委員会の一員としてミスの起こらない環境整備を行うため他部署と連携しながらプロトコルの作成などを行っています。



Q 休日はどのように過ごしていますか？

旅行が好きなので休みとあれば日帰りでも日本各地に行ったり、最近では友達同士でキャンプ等をして休日を楽しんでいます。

Q 求職者の方へ

当院では、熟練の胚培養士からの指導が受けられます。意欲のある方はぜひご応募お待ちしております！

Staff interview

2013年入職
培養室



医療は日進月歩
様々な学会や勉強会に参加し
クリニックで改善できないことがないかを
常に考えています



Q 胚培養士として今目指していることは？

技術の更なる向上はもちろん、院内研究や大学との合同研究などに取り組み、更に知識を高めて、より良い治療を患者様に届けられるようになりたいと考えています。

Q 胚培養士からみて当クリニックの強みは？

定期的に院内勉強会を行っているため、部署に関係なくスタッフ全員の知識が高いです。
また、胚培養士は21名(H30.9月現在)在籍しており、豊富な経験を積んだ先輩からの的確な指導は、スキルアップにとっても良い環境だと思います。
通常胚培養士は日本臨床エンブリオロジスト学会または日本卵子学会の胚培養士資格認定試験を受験しますが、高い知識と倫理観が求められるため、医療分野の試験の中でも6.5~7割と合格率が低い中、当院では開院当初から全員合格しています。これも普段から多くの症例を見て学ぶことができ、先輩からのサポートも大きいからだ実感しています。
学会発表についても力を入れており、初めての発表でも室長はじめ、先輩のサポートがあるため安心して新しいことにチャレンジできる環境です。



Q 休日とはどのように過ごしていますか？

「プライベートを充実させることはとても大切」と室長がいつも言っています。
集中力のいる仕事のため、ゆっくりと家で過ごすこともあります。有給休暇で年に1回は海外に旅行してリフレッシュしています。



Q 求職者の方へ

胚培養士という仕事は特殊な仕事ですが、とてもやりがいのある仕事です。
認知度もまだ低い仕事ですが、少しでも興味を持って頂けたのであれば嬉しく思います。一緒に働けるのを楽しみにしています。

Staff interview

2018年入職 培養室



このクリニックなら高い技術力を有する
胚培養士を目指せる

そして不妊に悩む多くのご夫婦の
力になれると確信した



Table 1. Development...
2 days in the WOW systems or Drops.

Culture system	Number of embryos	G1	G2	G3	G4	
≤39 years of age	WOW	201	51.2%	31.3%	14.4%	3.0%
	Drop	214	48.1%	33.2%	15.0%	3.7%
≥40 years of age	WOW	79	46.8%	31.6%	20.3%	1.3%
	Drop	82	48.8%	34.1%	12.2%	4.9%

G1 is shown good quality (The evaluation of embryos is our clinical original).



Q なぜ、当クリニックに入職を決めたのですか？

採卵や移植件数が多く、また体外受精の成績も高いということで、その背景には高い技術力を有する胚培養士と、胚培養士を教育する環境があると感じました。このクリニックなら高い技術力を有する胚培養士になることができ、そして不妊に悩む多くのご夫婦の力になることができると思いました。実際に入職し、在籍する胚培養士は、実績を裏付ける高い技術力を持ったスタッフばかりで、間違いはなかったと実感しています。

Q 胚培養士として今目指していることは？

まずは一刻も早く技術・知識を習得することです。同僚からも患者様からも信頼される高い技術力を持った胚培養士になりたいと思っています。



Q 胚培養士になって変わった事はありますか？

一日の生活のリズムです。午前中の患者様の来院前には業務の準備しておく必要があるため、朝は早いです。それから胚培養士は一つ一つの作業をきっちり行うので、そうした仕事の影響か、家では少しきれい好きになりました。

Q 求職者の方へ

胚培養士の仕事は大きな責任を伴いますが、人の人生に大きく貢献できるとてもやりがいのある仕事だと思います。私もまだまだ駆け出しですが、患者様の幸せに貢献できるよう、一緒に切磋琢磨できれば嬉しく思います。